

令和8年5月14日

**第84回レンガドック活用イベント
(第28回咸臨丸フェスティバル)
実施報告書**

レンガドック活用イベント実行委員会

第84回レンガドック活用イベントは、昨年度に引き続き、第28回咸臨丸フェスティバルに参画し、令和8年4月25日(土)、26日(日)にレンガドック活用センターで実施しました。

レンガドック活用センターでは、昨年度と同様に「ワンデーミュージアム」として、両日とも浦賀ドックで使われた工具と関連するパネルの展示、咸臨丸に関連するパネル展示を行いました。

また、今回初めての試みとして、レンガドックに関連するスタンプを会場内4箇所に設置し、スタンプラリーを行い、レンガドック活用センターにて抽選会を実施することで来場者の増加を促しました。

1 目的

例年、多くの来場者を数える咸臨丸フェスティバルに参画することで、多くの来場者に対しレンガドックについて周知を行い、親しみを持ってもらうことで、浦賀のまちづくり機運を高めるきっかけづくりに役立てる。

2 概要

(1)実施場所

- ・レンガドック活用センター（浦賀コミュニティ広場内）

(2)日時・天候

令和8年4月25日(土) 10:00～16:00（晴れ）

令和8年4月26日(日) 10:00～16:00（晴れ）

(3)実施プログラム・来場者数

- ・ワンデーミュージアム

〈協力〉 「ドックと浦賀の歴史を愛する会」：浦賀ドックの説明パネル、造船に使われていた工具等の展示物、咸臨丸に関するパネルの展示物の説明。

〈来場者数〉 1,210名（4月25日（土）572名、4月26日（日）638名）

（参考）昨年度 384名（4月26日（土）229名、4月27日（日）155名）

- ・スタンプラリー

〈協力〉 「ドックと浦賀の歴史を愛する会」：スタンプラリー運営、案内等。

〈来場者数〉 643名（4月25日（土）274名、4月26日（日）369名）

（参考）咸臨丸フェスティバル来場者数 4/25（土） 約 8,000 人

4/26（日） 約 10,000 人 合計 1 万 8,000 人

(4)スタッフ

- ・レンガドック活用イベント実行委員会事務局：まちなみ景観課 竹本主査、和田
- ・市民ボランティア「ドックと浦賀の歴史を愛する会」 5名

3 実施プログラムの概要

(1) ワンデーミュージアム・スタンプラリー

〈場所〉 レンガドック活用センター

〈時間〉 10:00～16:00

〈内容〉

ア. 浦賀フォトクラブによるドック写真

イ. レンガドック内の解説図・写真

ウ. 浦賀ドック内で使用していた工具の展示

エ. 咸臨丸パネル展示

オ. スタンプラリーと抽選会の実施（会場内4箇所）



ドック写真の展示



咸臨丸パネル展示



スタンプラリーの抽選会場



スタンプラリー設置場所

4 事前準備

(1) イベントの周知方法

- ア. 市ホームページ『レンガドック活用イベント実行委員会』掲載
- イ. 市ホームページ『よこすかカレンダー』掲載
- ウ. 咸臨丸フェスティバルのパンフレット(咸臨丸フェスティバル実行委員会作成)掲出

(2) 関係団体との調整

咸臨丸フェスティバル実行委員会(事務局：浦賀行政センター)

- 第1回 咸臨丸フェスティバル実行委員会(1月29日)
- 第2回 咸臨丸フェスティバル実行委員会(4月8日)

5 総評

今年はワンデーミュージアムと連携して、会場内でスタンプラリーを実施しました。

初めての試みであったスタンプラリーの効果もあってか1,210人もの来館者があり、昨年384名に比べて賑わいを見せました。

咸臨丸フェスティバルに参加することによって、委員会の活動を広く周知するとともに、浦賀ドックや咸臨丸に関する資料を多くの方々にご覧いただきました。

今後も浦賀の街を支えていた造船所の歴史・技術を後世に伝えるために効果的なイベントを企画して参ります。

以上